

筑西市議会予算特別委員会

会 議 録

(平成29年第1回定例会)

筑西市議会

予算特別委員会 会議録 (第2号)

1 日時

平成29年3月13日(月) 開議：午前10時3分 閉会：午前11時53分

2 場所

全員協議会室

3 審査案件

議案第26号 平成29年度筑西市一般会計予算
議案第27号 平成29年度筑西市国民健康保険特別会計予算
議案第28号 平成29年度筑西市後期高齢者医療特別会計予算
議案第29号 平成29年度筑西市公共下水道事業特別会計予算
議案第30号 平成29年度筑西市農業集落排水事業特別会計予算
議案第31号 平成29年度筑西市下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計予算
議案第32号 平成29年度筑西市駐車場事業特別会計予算
議案第33号 平成29年度筑西市介護保険特別会計予算
議案第34号 平成29年度筑西市介護サービス事業特別会計予算
議案第35号 平成29年度筑西市水道事業会計予算
議案第36号 平成29年度筑西市病院事業会計予算

4 出席委員

委員長	榎戸甲子夫君	副委員長	田中 隆徳君			
委員	小倉ひと美君	委員	三澤 隆一君	委員	藤澤 和成君	
委員	森 正雄君	委員	大嶋 茂君	委員	増淵 慎治君	
委員	尾木 恵子君	委員	堀江 健一君	委員	赤城 正徳君	
委員	三浦 讓君					

5 欠席委員

なし

6 議会事務局職員出席者

事務局長	國府田 弘君	書記	鈴木 徹君	書記	中島 国人君	
書記	大山 知美君	書記	篠崎 英俊君	書記	田中 佑治君	

委員長 榎戸 甲子夫

開 議 午前10時 3分

○委員長（榎戸甲子夫君） 開会に先立ち皆様にご連絡いたします。9日の予算特別委員会の税務部における審査のうち法人税に関する執行部答弁に公表することが好ましくない部分がありましたので、後刻会議録を調整させていただきます。

それでは、ただいまから予算特別委員会を開きます。

ただいまの出席委員は12名であります。よって、会議は成立いたしております。

今回は、土木部までの審査が終了いたしておりますので、本日は上下水道部からの審査をお願いいたします。審査を願いますが、まず初めに一般会計の審査をしていただき、その後、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、別冊の水道事業会計の順で審査を願います。

それでは、一般会計の審査を願います。歳入は、使用料及び手数料の土木使用料、説明欄の21ページ中段、1団地排水施設使用料から、歳出は総務費の財産管理費、説明欄の71ページ下段、団地排水建設事業基金積立事業からです。

質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） 以上で一般会計の審査を終わります。

次に、公共下水道事業特別会計について審査願います。ページは343ページからです。

質疑を願います。

森委員。

○委員（森 正雄君） 2点ほど伺います。

359ページであります。事業で公共下水道建設事業、当初でかなりこれ予算が昨年より増額になっていきますけれども、この中の15番、工事請負費、これの内容、管渠工事の内容について1点お伺いさせていただきます。

それと、その下の流域下水道事業であります。これですけれども、鬼怒小貝流域下水道建設事業負担金、これが昨年と比較をしますと、当初かなり増額になっております。この内容について伺います。

以上、2点です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁を願います。

日向野下水道課長。

○下水道課長（日向野晶弘君） お答えいたします。

359ページの工事請負費の管渠でございます。まず、下館地区ですが、稲野辺の管渠でございます。これは、延長230メートルでございます。続きまして、協和地区の門井でございます。これは、開削工事延長200メートルでございます。それと、道の駅です。道の駅の関連の工事がありまして、これが延長が300メートル、これが管渠工事の主な内訳でございます。

それと、流域下水道の件でございますが……少々お待ちください。もともとの算出の基礎は、県のほうの流域負担金の計算でございます。市のほうではなく、県のほうの数字になっております。その関係で増加したということでございます。

（「この鬼怒小貝ですよ」と呼ぶ者あり）

○下水道課長（日向野晶弘君） （続）はい。

（「県というのは小貝川じゃないの」と呼ぶ者あり）

○下水道課長（日向野晶弘君） （続）茨城県です。茨城県が鬼怒小貝と小貝川東部は県の事業なものですから、県から出た数字をそのまま上げている感じなのです。

○委員長（榎戸甲子夫君） 森委員。

○委員（森 正雄君） 私の勘違い。鬼怒小貝流域下水道というのは、ある程度その受益の市町村のいわゆる受益負担金によって運営されているのかなというふう感じていたのですが、そうではないのですか。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁願います。

○下水道課長（日向野晶弘君） 一般的には、県の工事費から割り振りまして、その数字が各市町においてくるということでございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 森委員。

○委員（森 正雄君） そうしますと、関係市町村の負担割合というのを教えてください。

○委員長（榎戸甲子夫君） 日向野下水道課長。

○下水道課長（日向野晶弘君） お答えいたします。

鬼怒小貝の負担割合でございますが、まず下妻市は処理場が30.8%、管渠が29.1%、これが下妻市です。筑西市、旧関城の分なのですけれども、処理場が15.9%、管渠が21.6%、八千代町、処理場が17.2%、管渠が24.0%。これ下妻市は旧千代川村になるのですけれども、旧千代川村は処理場が8.9%、管渠が8.3%、そして常総市、旧石下町です。処理場が27.2%、管渠が16.8%。以上、5つの団体で合計100%となっております。

○委員長（榎戸甲子夫君） ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 355ページの中段、公共下水道使用料徴収事業で委託で2,000万円強ということですから、水道のほうでも徴収委託をやっているわけで、これの統合ということをするとかかなり合理化になるかなというふうにも思うのですが、しかも例えば1軒のお宅でそんなに場所も変わらないということなのですが、この辺の検討とかというのはやったことがあるのですか。それが1つ。

357ページで上の段のところですか。下水道企業会計移行事業、固定資産調査・評価作業委託料が700万円弱ということで、これの中身がどういうふうになっているのか。人数だとか日にちだとか、それからどういう部分を委託するのかということですか。それだけです。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁を願います。

吉田水道課長。

○水道課長（吉田 孝君） ご答弁申し上げます。

下水道料金と水道料金につきましては、水道事業のほうで徴収業務を行ってございます。下水道のみの世帯につきましても、水道のほうで料金徴収を下水道課の委託ということで一括で徴収を行ってございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次に、日向野下水道課長。

○下水道課長（日向野晶弘君） お答えいたします。

企業会計移行事務につきましては、下水道管路及び処理場、ポンプ場施設等について、決算書、工事台帳、設計書等を調査し、工事名、工事箇所、工事内容、工事価格、請負業者名簿について整理いたします。その後、評価額をもとに資産評価を行っております。これが主な中身でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員。

○委員（三浦 譲君） さっき1つ漏れたので、追加で。

357ページのずっと下の段です。公共下水道施設修繕事業で、あと流域下水道の維持管理費ということで、公共下水道のほうは額が少ないですね。流域下水道のほうは維持管理の負担金のほうが大分ふえていますけれども、今後のことなのですが、維持補修をする部分がだんだんふえてきますね。維持管理費もふえてくる。その辺の見通しというか、傾向というのはどうなっているのかを教えてくださいたいと思います。

それから、さっき355ページの使用料徴収のほうですけれども、この徴収のほうには検針の部分は入っていないということなのですか。それとも一緒になっているのか、その辺です。

それから、会計の話ですけれども、限られた職員であれもこれもやらなくてはならないということになるのはわかるのですが、委託をする部分を専門家にお任せみたいになっているのかなというふうに、私いろいろな委託料で見るとそういう印象を受けるので、その辺の精査が必要ではないのかなと思っているのですが、どういう部分はどうしても職員ではできないといったような、そういうところの仕分けはどういうふうになっているのか、お願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁を願います。

日向野下水道課長。

○下水道課長（日向野晶弘君） お答えいたします。

流域下水道の施設維持管理事務につきましては、先ほど申し上げましたように、県からの数字が出てまして、それに従って予算計上させていただきました。これからの傾向なのですけれども、やはり委員さんおっしゃったように、ある程度維持管理につきましては増加することが予想されるのではないかと考えております。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次に、吉田水道課長。

○水道課長（吉田 孝君） お答えいたします。

検針業務につきましても、水道事業のほうで受けてございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 徴収のほうですけれども、水道のほうで……あっ、水道に委託しているという意味ですか、ここは、わかりました。

それと、委託料の説明なかったね。ちょっと追加で質問しますけれども、維持管理費のほう、公共下水

道のほうが管渠のほうが400万円ですから、全体として見て少ないのかなというふうな印象を受けるのですが、管渠をあちこちで傷みが下水の場合は発生するのではないかなと思うのですが、最近のこの補修工事費の傾向というのですか、額がわかれば増減知りたいので、お願いしたいと思います。

それから、先ほどの委託料の仕分けの仕方をお願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 日向野下水道課長。

○下水道課長（日向野晶弘君） お答えいたします。

委託料の仕分けの仕方なのですけれども、平成29年度に予定しておりますのが、管渠が1,375本を計算いたします。そして、処理場についても100本計算いたしますので、なかなかこれを専門知識がない者がやるとしましたら、ちょっと数字的に難しいというか、誤差が生じてしまうと思うのです。ですから、やむを得ず専門家をお願いするということでございます。ご容赦ください。

○委員長（榎戸甲子夫君） 委託料は。

○委員（三浦 譲君） 工事費。

○下水道課長（日向野晶弘君） これらの管につきましては、平成33年にストックマネジメント計画というのをつくります。それに基づきまして、将来的な管渠とか処理場の維持管理の詳しい精査をいたします。ですから、企業会計とはまた別な感じになるのですけれども。ストックマネジメント計画といたしまして、処理場とかの管渠を含めた形で計画いたします。その前の企業会計と同様なのですけれども。

○委員（三浦 譲君） 今委託料の話ですよ。

○下水道課長（日向野晶弘君） はい。

今度管理費ですね。管渠管理費400万円。済みません。勘違いしました。管渠が400万円でございますが、主に舗装埋設部の地下、道路の地下の修繕をしております。ですから、400万円という数字で一応計上させていただきました。

○委員（三浦 譲君） いつもこんなものなのですか。

○下水道課長（日向野晶弘君） いつも毎年こんな数字を上げさせてもらっています。

○委員（三浦 譲君） わかりました。以上で。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次ございますか。

赤城委員。

○委員（赤城正徳君） 小貝川東部流域下水道の処理場があるのが、筑西市の一番南の前に。それで、これは土木の道路維持課ともよく相談していただきたいと思うのですが、いつも5月、秋には東部流域下水道を通過して下妻市の高道祖、または我が筑西市の赤浜へ行くときに近道を通るわけですが、車が。非常にトラブルが多いの。ぶち合いのけんか寸前になるようなこともあります。そういう関係上、農耕車優先という立て札だな、それを小貝川流域下水道の名前と筑西市の名前と、あそこだから土地改良も入るかと思うのだけれども、あと下妻市も入れて、そういうふうに見板を立ててもらいたいのだ。それを下水道の名前も使えば、お互いに土木と話し合っ立っていただきたい。こう思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（榎戸甲子夫君） これ要望でよろしいですか。

○委員（赤城正徳君） 要望ではなくて。

○委員長（榎戸甲子夫君） 予算委員会ですから。

○委員（赤城正徳君） それはわかります。ですから、ここに維持管理費というのがあるから。

○委員長（榎戸甲子夫君） では、日向野下水道課長。

○下水道課長（日向野晶弘君） お答えいたします。

県、あと市の土木と下妻市、あと私ども下水道課で一応協議しまして、看板設置する方向で検討したいと思っております。よろしく申し上げます。

○委員（赤城正徳君） ぜひよろしく申し上げます。

○委員長（榎戸甲子夫君） では、部長、一言。要望にお応えしてください。

○上下水道部長（廣瀬正明君） ただいまのご質問にお答えしたいと思います。

あそこの場合には、道路は県道、そして筑西市だけですぐ下妻市というふうなことで、それぞれ関係機関等含めて調整をしないと、下水道の一存で看板をつけるというふうなことは、これはなかなか難しい問題だろうと思っておりますので、関係者協議した上で土木のほうにお願いするようなことになろうかと思うのですけれども、そういうことで進めさせていただきたいと思っております。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 赤城委員。

○委員（赤城正徳君） 下水道だ、土木だなんて逃げないで、下妻市、筑西市、名前、どっちも両市の名前と流域下水道の名前、それと土地改良の名前、4つ入れれば4団体ともみんなおっかなくないと思うのだ。一団体だけではちょっとクレームが来るような感じもするから。ぜひともそれを実現していただきたい。お願いいたします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 要望として承っておきます。

では、次に農業集落排水事業特別会計について審査願います。ページは377ページからです。質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） 質疑なし。

では、次に別冊の企業会計予算書の水道事業会計について審査願います。ページは1ページからです。質疑を願います。

三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 31ページですけれども、一番上のほうです。水道ビジョン更新及び経営戦略策定業務委託料568万円の、これとストックマネジメントとの関係をお願いしたいと思います。

それから、35ページ、道の駅工事配水管布設の件ですけれども、道の駅の周辺もだんだんに駅だけではなくて、別な開発とか、そういうのも進んでくるのかなというふうにも思うのですが、そういったことを病院とか道の駅というのは、そういう先を見越した設計でいくのか、当面の需要でいくのか、その辺のところを聞かせてもらいたいと思っております。

それから、37ページ下です。一番下。元金償還金の中で市中銀行に2億幾らというのがあります。これは、何のときに借りたとか、そういうのが主にわかればお願いしたいと思います。

それから、市中銀行ではない資金で借りることができなかつたのかどうかというところです。

以上、お願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁願います。

吉田水道課長。

○水道課長（吉田 孝君） お答え申し上げます。

まず、水道ビジョンの改定と経営戦略の作成でございますが、水道ビジョンにつきましては平成19年に策定いたしまして、平成29年度末で終了いたします。それに向けまして、平成30年度からの将来水道があるべき姿を定めるもので、財政等も含めまして平成30年度からの、また10年間の計画を策定するものでございます。

続きまして、道の駅でございますけれども、道の駅につきましては土木部さんからの受託工事という形で整備いたしますが、あの近辺からの口径からいたしますと、かなり太い口径で見えておりますので、将来あそこで周りで使っても十分なだけの口径では見てございます。

それと、市中銀行からの借り入れでございますけれども、以前政府資金のほうから借りていました企業債の借換債を市中銀行のほうから借りたものでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） はい。

○委員（三浦 譲君） 全部わかりました。

○委員長（榎戸甲子夫君） 質疑願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） では、以上で上下水道部関係を終わります。

上下水道部の皆さん、ご苦労さまでした。

では、次に中核病院整備部関係について審査願います。

歳入は、県支出金の衛生費県補助金、説明欄の31ページ中段、16筑西・桜川地域新中核病院整備事業費補助金から、歳出は衛生費の地域医療対策費、説明欄の139ページ中段、新中核病院整備事業からです。また、別冊の企業会計予算書39ページ、筑西市民病院事業会計からです。

なお、新中核病院関係予算についての質疑でございますが、新中核病院建物本体や外構工事にかかわる歳出については、既に土木部で審査されておりますので、それ以外の部分についてお願いをいたします。

質疑を願います。

藤澤委員。

○委員（藤澤和成君） よろしくお願ひいたします。

主要事務事業の概要説明書の5ページなのですが、一般会計分で統合支援委託、それからこの建設支援委託、その下に移転計画作成委託と、3つ、委託、委託、委託と来ていますが、それぞれどういう内容のものをどういうところに委託されるのか、教えていただけますでしょうか。

○委員長（榎戸甲子夫君） 中澤業務推進課長。

○業務推進課長（中澤忠義君） ご答弁申し上げます。

まず、統合支援委託でございますが、これは金額で予算書の中で統合支援委託料ということで7,197万2,000円を予算計上しております。内容につきましては10項目ございます。1つは、地方独立行政法人化制度対応、これに関する支援、筑西市民病院及び県西総合病院の業務統合の支援、新人事制度の導入支援等、私たちが進めている事業についての、ソフト事業についての総合的なアドバイスをいただくものでございます。そして、建設支援委託料につきましては、医療機器購入選定支援、情報システム統合支援などでございます。そのほかに建設に関する支援がありまして、また移転計画につきましては新病院に移転する際の計画を立てていただくことになっております。ただ、業者につきましては来年度決めることになっておりますが、平成27年にみずほ総合研究所に基本計画、統合支援をプロポーザルで委託した経緯がございますので、平成27年、28年の統合支援はみずほ総合研究所にお願いしている経緯がございます。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 藤澤委員。

○委員（藤澤和成君） ありがとうございます。

では、移転計画作成委託というのは、この139ページの予算書の中にはどこどこに入ってくるのでしょうか。

○委員長（榎戸甲子夫君） 中澤業務推進課長。

○業務推進課長（中澤忠義君） 移転計画作成業務につきましては、建設支援委託料の合計が7,196万3,000円ございまして、その中の2,916万円分が移転計画作成業務分になっております。

○委員長（榎戸甲子夫君） ほかに。

三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 企業会計のほうの66、67ページで、収入のほうの医業収益の目3 その他医業収益が倍増ということで、これはどういうことなのかをまず説明していただきたいと思います。

（「市民病院ですよね」と呼ぶ者あり）

○委員（三浦 譲君） （続）あれ、一緒にいいのだよね。別々。

（「市民病院はそちらで」と呼ぶ者あり）

○委員（三浦 譲君） （続）そうか、そうか。勘違いしてしまいました。

89ページ、医療機器です。89ページ、ずっと下のほうで医療機器等整備費12億円の件ですけれども、建物本体がいつ仕上がる予定なのか。それが仕上がらないと医療機器が運べないのではないかとは思いますが、その辺との時期的関係です。それをお願いしたいということです。いつごろ購入して設置できるのか。その後、機器の試運転というか、そういう訓練があるのだと思うのですが、その時期とか、そういうのが年度内にできるということなのかどうか、それをお願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 中澤業務推進課長。

○業務推進課長（中澤忠義君） ご答弁申し上げます。

医療機器の購入につきましては、現在機器の状況等を調査しているところでございまして、来年度になりまして本格的に事務を進めてまいります。予定では、購入委員会等を設置して、購入機器を最終的に選定した後に、9月ごろからプロポーザルまたは入札により機器を調達していく予定でございます。なお、

建物の契約では、平成30年8月に引き渡しということになっておりますので、大型機器等につきましては事前に一部竣工検査等をして導入が可能なかどうか、今後詳細に詰めていくことになると考えております。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員。

○委員（三浦 譲君） それで、今の段階でははっきり言えるかどうかわからないのですが、医療機器の価格というのは随分幅があるし、それから買い方、注文のつけ方とか、そういうのもう何割も違ってくるとい話はよく聞くところなのですが、その辺は当然ただ買うということではないでしょうから、その辺をどう厳しく見ていくかということがかなりの何億円も違ってく話になると思うのです。その辺はどういうふうを考えているのか、お願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 中澤業務推進課長。

○業務推進課長（中澤忠義君） 先ほど申し上げましたが、現在各病院のヒアリングを経て現物を確認、そしてまた使えるものは使って、使えないものは新たに購入するということで、その価格等についても調査をしているところでございまして、平成29年度になりましたら購入検討委員会を設置しまして、その中でいろいろと調査を進めていって、最終的に購入するものについては選定していくというように考えております。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員。

○委員（三浦 譲君） そうすると、今回の額ですけれども、12億1,814万円と細かく出ているという意味は、どういうものを買うかというのはもう決まっていると。それをざっと見積もってみたという意味なのでしょうか。その辺の見積もり方をお願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 中澤業務推進課長。

○業務推進課長（中澤忠義君） 今回の予算につきましては、医療機器分が9億5,000万円です。あと、医療機器と情報システムの統合支援を合わせてこの金額になっております。医療機器につきましては、平成29年度と平成30年度に分けて購入する予定になっております。

○委員長（榎戸甲子夫君） 3回目です。終わりです。申し合わせです。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） では、以上で中核病院整備部関係を終わります。

中核病院整備部の皆さん、ご苦労さまでした。

では、次に会計関係について審査願います。

歳入は、諸収入の市預金利子、説明欄の39ページ下段、1市預金利子から、歳出は総務費の会計管理費、説明欄の61ページ下段、会計事務費からです。

質疑を願います。

三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 一時借入金などでやりくりする場合に、年間にどのくらいの利子を払うものなの

か。そういったケースがどのくらいあるのか、お願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁を願います。

谷中会計課長。

○会計課長（谷中茂美君） 一時借入れということでお借りしているのは、今現在は特にはございません。借入れといたしましても、うちのほうでは基金のほうの取り崩しということでお借りしていることはあります。今現在ですと2件ほどありまして、現在10月に1度、それから12月に1度やっておりますが、これは市の中の繰り入れだけですので、ほかからの借入れということではございません。

○委員長（榎戸甲子夫君） 企画部長。

○企画部長（坂入龍一君） 三浦委員さん、よく財調の質問をされているのですが、財調のほうの繰りかえ運用で中で回していますので、一時借入れはやらなくても済んでいるというのが今実情でございます。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 近年一時借入れはしていないという状況ですか。わかりました。

○委員長（榎戸甲子夫君） よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） 以上で会計審査を終わります。

会計課の皆さん、ご苦労さまでした。

では、市民病院関係について審査願います。別冊の企業会計予算書39ページ、筑西市民病院事業会計からです。

質疑を願います。

三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 66、67ページです。その他医業収益が倍増している件について、中身を教えてください。

それと、71ページの下のほう、賃金、臨時職員賃金の中身です。これ減っているのかふえているのか、その辺をお願いします。

それから、89ページ、下の枠の真ん中よりちょっと上、リース資産購入2,700万円強、このリース資産だから、今までリースしていたものを年数たって買い取るということなのかなというふうに思うのですが、どんなものをやるのか。古いものは当然劣化とか性能の問題もあるのでしょうか、その辺のところをわかるように教えてください。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁願います。

上村病院総務課長。

○病院総務課長（上村好夫君） お答えを申し上げます。

まず、67ページのその他の医業収益につきましては、1億5,000万円と倍増してございますが、その理

由といたしましては67ページの節5 その他医業収益の一番下でございますが、県西総合病院の派遣職員の人件費負担金ということで、こちらにつきましては医療職の分14名の分で7,904万4,000円、こちらが県西総合病院のほうから人件費負担金ということで収入として入ってきますので、この分で倍増してございます。

2点目でございますが、71ページの賃金でございます。5賃金2億2,291万1,000円、こちらにつきましては前年度と比較しますと、前年度が2億2,585万円ということで、約300万円ほど減してございます。内訳としましては、こちらの賃金につきましては非常勤医師37名分、それと技術職員6名分、看護師23名分の賃金でございます。

最後でございますが、89ページ、節1 リース資産の購入2,781万9,000円、こちらにつきましては平成26年度の制度改正によりまして、300万円以上のリース物件につきましては4条予算で処理するという制度が改正されまして、3件のリースを行っております。こちらにつきましては3件のリースで、MRI装置の借上料、維持システムの借上料、電話設備のシステムの借上料、こちらにつきましては5年間のリースになっていまして、2,789万1,000円ということでリースしてございます。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員。

○委員（三浦 譲君） さっきのその他医業収益の県西総合病院から14名の分が来るということで、これは病院統合の先取りという意味なのかどうなのか。ちょっと意味がよくわからなかったもので、お願いします。それだけです。

○委員長（榎戸甲子夫君） 上村病院総務課長。

○病院総務課長（上村好夫君） こちらにつきましては、平成28年に採用試験を行いまして、新中核病院に向けまして先行取得ということで医療職のほうの確保を図りました。合計で平成28年度に6名ほど採用してございますので、合計で37名の職員を任期つき職員として筑西市と県西総合病院のほうで採用してございます。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） 以上で市民病院関係を終わります。

市民病院の皆さん、ご苦労さまでした。

休憩をとります。

休 憩 午前10時48分

再 開 午前11時

○委員長（榎戸甲子夫君） では、会議を再開いたします。

教育委員会について審査願います。

歳入は、分担金及び負担金の教育費負担金、説明欄の19ページ下段、1日本スポーツ振興センター掛金負担金（小学校）から、歳出は民生費の児童福祉総務費、説明欄の121ページ上段、あけの子育て支援センター運営事業からです。

質疑を願います。

三澤委員。

○委員（三澤隆一君） ページ数、予算書の227ページなのですが、上段の歴史・文化資源活用推進事業というのがあるのですけれども、そのこれまず予算が48万円と非常に少ないのですが、何名で今現在この事業を行っているのかということと、あと先進事例とPRというのはどういうふうに進事例の調査とPRをやっているのかということです。それをまずお聞きしたいのと、その上にある文化財区域危険木剪定伐採事業というのがありますが、これは市内のどの業者が、何力所ぐらいの場所をやっているのかということをお聞きしたいと思います。

それと、もう1つなのですが、239ページの上段の国体についての300万円という予算がついておりますが、これは平成29年度から平成31年度の計画で開催準備を行うということでありますけれども、策定計画、視察というのが平成29年度の予定となっております、平成30年には1年前イベントというのを開催することになっているのですが、大会自体は何とかいけると思うのですけれども、その間の宿泊とか、例えば競技場へのアクセスとか、民間の力をちょっとかりなくてはできないのではないかとこのように思っているのですけれども、その辺についてお伺いしたいと思います。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 新井文化課長。

○文化課長（新井善光君） お答えいたします。

まず、歴史・文化資源活用推進事業につきましては、職員数4名おりますが、そのうち2名が担当しております。

それと、次に48万6,000円のPRパンフレット等につきましては、子供たちがよくわかるような形でのパンフレットというものを作成しております。今ちょうど作成中でして、まだでき上がっておりませんが、間もなくでき上がる予定でございます。

次に、先進地事例につきましては、平成28年度につきましてはつくば市や結城市、こちらの小田城、あと結城市の結城廃寺、こちらのほうを先進事例ということで視察をさせていただき、いろいろなお話を聞いてきました。平成29年度予算に上がっています先進事例ということで、石岡市にあります国分尼寺とか、下野市のほうにあります国分寺、国分尼寺、こちらのほうを先進事例ということで視察をしてまいりたいと考えております。

それと、危険木につきましては、協和地内で平成29年度予算につきましては協和の農業資料館、こちらのところの木がかなり大きくなっておりまして、南側の畑等に覆いかぶさるような形になっております。そういったことを踏まえまして、地元の業者のほうにお願いする予定でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、谷口スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（谷口充男君） 国体関係についてお答えいたします。

今年度、7月13日に国体の準備委員会を立ち上げまして、議員の皆様方にもご協力いただき、準備委員会を発足したところでございます。先ほど委員さんご質問の民間の力ということで、実行委員会の後、12月に常任委員会を開催しまして、2月10日から総務企画運営委員会を初め4つの専門委員会、特に民間の力ということで運輸・警備関係、それと競技・式典、あとはホテル関係の方にも集まっていたきまして、4つの専門委員会を実施して、今回というか、ことしに関しては顔合わせ的なところもあるのですが、来年度につきましてはもっと詰めた形で進めていきたいということで、先ほど言った専門委員会、民間の方を交えた形の委員会を発足して、準備を進めているところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三澤委員。

○委員（三澤隆一君） 先ほどの歴史・文化資源活用のほうなのですが、これから各地にそういった国とか県の指定の文化財があると思うのですが、これは順次調査して、同じように行っていくのかということです。予算的にちょっとかなり少ないなというふうには私思うので、今後これは増額していく予定はあるのかということをお聞きしたいのと、国体についてですが、ボランティア、これから民間と一緒にということでありまして、個人とかボランティア団体の育成とか協力に対してのお考えはあるのかということと、平成30年、平成31年に向けて予算はどのように変化していくのかということをお聞きしたいと思います。

○委員長（榎戸甲子夫君） 新井文化課長。

○文化課長（新井善光君） お答えいたします。

予算の増額につきましては、年度年度を追っていきまして、例えば話が進んでいく中で測量する、もしくは活用計画書をつくるということになりますと、当然予算額が増額という形になります。現状段階では、まだ視察段階ですので、予算のほうは48万6,000円ということになっております。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 谷口スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（谷口充男君） 国体のボランティアに関してですが、もちろんボランティアの方の参加も当然予定しております。そういった意味でも先進地の視察等も含め、今後検討していきたいと考えております。来年度からの、来年度は300万円の予算ですが、当然平成30年度、平成31年度、該当年度の開催年度まで金額的にはこれから、筑西市でも初めての国体開催ということですので、他県を視察等含め、他町村と検討しながら、金額的には恐らく何千万円という形になると思うのですが、そういった形で進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、藤澤委員。

○委員（藤澤和成君） よろしくお願ひします。

予算書は217ページ、防犯ブザーなのですけども、2年目になりましたか防犯ブザー。なかなか中学生もいろいろいらっしゃいますので、なかなか中学生に防犯ブザーはなじみがないのではないかとこの

とが1点なので、そういった防犯ブザーになった経緯と、あと単価と個数を教えていただきたいと思いません。

それから、もう1点は主要事務事業の一番最後のページですけれども、国体に関しては昨年度も視察に行かれて、また来年度も視察に行かれると思うのですが、こういったメンバーで行かれたのか、教えてくださいいただけますでしょうか。

以上、2点です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁を願います。

山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） お答えいたします。

中学生防犯用品支給事業につきましては、平成27年度に行われました子供議会におきまして、子供議員さんのほうから提案があったものにつきまして、中学生全員に防犯ブザーを支給するというところで実施してございます。平成28年度につきましては、中学生全員とことしの4月から入学される中学生を対象に購入します。来年度につきましては、平成30年度に入学される方を対象にいたしまして購入する予定になっておりまして、個数は新生入生が予定で841人、予備で10人分ということで、851人分の予算ということで、1個当たり約1,000円でございますので、92万円の予算を計上させていただいているところでございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、谷口スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（谷口充男君） 茨城国体開催事業でございますが、今年度、平成28年度でございますが、岩手県で開催されました。10月1日から11日の間の期間ですが、当市で行われる剣道競技が岩手県の盛岡市で9日から11日までの間開催されるということで、2泊3日で職員が4名、一応視察ということで、準備段階から視察してきたところでございます。以上でございます。

来年度につきましては、今度愛媛大会ということに、平成29年度、愛媛大会、平成30年度は福井大会ということで、当然岩手大会のときに担当市町村の職員も来ていましたので、そういった方と交流を図りながら、愛媛大会、来年度、今度は委員さんも含めて視察に行きたいということで一応予定しております。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、尾木委員。

○委員（尾木恵子君） 予算書の205ページです。一番下のところなのですが、要・準要保護児童生徒の件なのですが、これ小中それぞれまず人数をお聞きしたいと思います。見込み人数です。

それと、227ページの地域交流センターの改修事業、この改修内容について。

それと、229ページの下館地区公民館改修事業とありますけれども、これもどこの公民館で何を改修するのか、お願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁を願います。

山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） まず、要保護・準要保護の児童生徒数でございますが、予定といたしまして要保護児童数は20人を予定しています。要保護生徒数につきましては17人、そして準要保護の児童数につきましては367人、準要保護生徒数につきましては260人を予定してございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、増田地域交流センター長。

○地域交流センター長（増田 満君） お答えいたします。

2点あったかと思えます。まず、1点目、地域交流センターの改修事業でございます。こちらにつきましては、まず監視カメラのシステムを交換いたします。その次に、空調関係でございます。吸収式の冷温水発生器というものを使っておりまして、そのうちの1つのチューブ清掃、これはスケールなどがたまっておりますので、それを清掃いたします。それから、館内に4台あるエレベーター、これも年次計画で改修してまいります。それと、もう1つ、1階のタイルカーペットの汚れがひどい部分を張りかえるという、こちら5点、まずこの5つの工事を行います。

ご質問のもう1点のほうです。下館地区の公民館の改修事業でございます。平成29年度におきましては、養蚕地区公民館ですね、養蚕公民館、ここの空調関係の冷温水発生器の修繕、それと冷水ポンプ、これはシステムの冷水、冷たい水を送る循環させるポンプですけれども、これの交換を行います。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 尾木委員。

○委員（尾木恵子君） 要保護と準要保護のほうなのですけれども、これは前年に比べてどのような状況なのかということをお聞きしたいのです。

それと、地域交流センターの監視カメラ、これというのは交換ということなのですか。その辺だけ。

○委員長（榎戸甲子夫君） 山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） お答えいたします。

要保護・準要保護の児童生徒数につきましては、児童生徒数の減少に伴いまして該当する児童生徒数も毎年若干ながら減少傾向にございます。平成28年度におきましては、約700人の方が受給されておりますけれども、平成29年度、今見込んでいるのが657人ということで見込みをさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、増田地域交流センター長。

○地域交流センター長（増田 満君） 地域交流センターの改修事業の監視カメラのことでございます。現在です。監視カメラ、あとその記憶装置、それが稼働しておりますが、建築後、もう14年たっております。当時の最新鋭の機械を設置してはありますが、解像度とか記録時間が非常に短いという、解像度が低いという。一部そのモニター、映らないところがございます。現在そのモニター映らないところは1台のモニターで全部ほかのところも見ることが出来ますので、何とかカバーできているのですが、その修繕も含めまして、新しいシステムに入れかえるということでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 尾木委員。

○委員（尾木恵子君） 学校のほうの保護のほうでちょっと伺いたいのですけれども、よく給食費の滞納にこういう方たちがかわってきってしまう部分で、要保護になっていけば給食費の滞納というのは関係なくなるわけですけれども、依然として給食費の滞納額が大きいということで、そういう部分で要するに今

回見込みが、前年比に対して減少していますということなのですけれども、これ保護者に対してそういう要保護、準要保護のそういう事業をやっていますよという周知の徹底というのはどのようにしているのかということと、そういう例えば入学のときにやっているとか何とかという部分があるとすれば、途中でそういう相談なんかもしたい保護者というのはいるかと思うのですよ、途中でやっぱりそういうのをお願いしたいという方も。だけれども、やっぱり周知がされていないとなかなか途中というのはいかないかと思うのですけれども、そういう保護者に対する周知というのはどのようにやっているのでしょうか。

○委員長（榎戸甲子夫君） 山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） まず、現在要保護、準要保護を受けていらっしゃる方については、継続ということで学校を通しまして申請をしていただいております。そのほか新入学生につきましては、新規ということになりますので、なかなかわかりづらいとは思いますが、その点につきましては広報紙で広報したり、学校を通して学校の先生が家庭訪問のときに詳しく内容を説明したりしておりますので、周知はされているのかなというふうに考えてございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、小倉委員。

○委員（小倉ひと美君） 主要事務事業のナンバー23、小中一貫教育についてお聞きしたいと思います。

新年度、小中一貫教育、どのようなことを予定しているのか。

あと、中学校に進学するときに分かれてしまう小学校、五所小学校、伊讃小学校がありますが、その小学校の対応はどのようになっているのか、お願いいたします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁願います。

山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） 平成29年度の小中一貫教育につきましては、平成28年度から取り組んでおります明野中学校におきましてはモデル校ということで、平成29年度におきましてはさらに内容を充実させていくということで考えてございます。また、そのほかの6つの中学校区におきましても、小中一貫教育を推進する観点から、各中学校区に対しまして依頼をしまして、小中一貫を進めてもらいたいということをお願いしているところでございます。そのための必要な予算といたしまして、今回主にバス代が大きいのですけれども、バスを借り上げて中学校に行き、授業を体験したり、部活動を体験したり、そういった予算を今回計上させていただいております。明野中学校区が3回分、そのほかの6つの中学校区につきましては2回分を計上させていただいております。そのほか事務費ということで、今回362万1,000円ということで計上させていただいている状況でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） よろしいですか。

○委員（小倉ひと美君） 済みません。先ほどお聞きした、分かれてしまう小学校の対応というのをお願いいたします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁漏れ。

○学務課長（山形浩之君） 済みません。答弁漏れで申しわけありませんでした。

分かれてしまう小学校につきましては、先ほどご案内のように、五所小学校につきましては北中学校と西中学校に分かれてしまいます。また、伊讚小学校につきましても、下館中学校と西中学校に分かれるというようなことがありますけれども、分かれてしまうのですけれども、9年間で子供たちを育てていくということで、それぞれの中学校区におきまして系統的な活動をするということでやってございますので、その中学校区においてそれぞれにやっていただくということで考えております。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 小倉委員。

○委員（小倉ひと美君） 先ほどの分かれてしまう小学校なのですけれども、それぞれの中学校区ということは、五所小学校の子でしたらば、北中学校に上がる子は北中学校に部活や授業の体験に行き、西中学校に上がる予定の子は西中学校に体験に行くというような形でよろしいのでしょうか。

○委員長（榎戸甲子夫君） 山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） そのように考えてございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 小倉委員。

○委員（小倉ひと美君） ありがとうございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、増淵委員。

○委員（増淵慎治君） 予算書の217ページ、今小中一貫の話も出たので、明野中学校のプールの整備をするという、スタートすると。平成29年度の設計委託ということで載っておりますけれども、明野中学校のプールをこれからつくるに当たって、先ほども小中一貫の小倉委員からも出ましたけれども。明野はモデル校としてもスタートしていただいて、将来的なことも含めたプールづくりをするのかなというふうに思っているのですが、内容についてわかっている範囲で結構ですので、どういう形で設計委託をするのか、お願いしたいと思います。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁をお願いします。

増田施設整備課長。

○施設整備課長（増田 茂君） お答えいたします。

明野中学校のプール整備でございますが、まず平成29年度におきましてプールの整備に必要になります地質調査を行います。それとあわせてプールの実際の実設計計を行いたいと思っております。平成30年度においてプールのほうの工事を行っていく予定でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 増淵委員。

○委員（増淵慎治君） そのときに将来的なことを考えて、明野の中学校のプールは私も昔見て、すばらしかったのですが、小中一貫の義務教育の一体型ということも将来的には考えられるので、そういうことも入れたプールづくりというのは考えているのでしょうか。お願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 増田施設整備課長。

○施設整備課長（増田 茂君） お答えいたします。

明野中学校のプールにつきましては、まず中学校のプールを整備することを前提に考えてござい

ます。ただ、委員さんがおっしゃいますように、小中一貫校の統合となりますと、それらも含めて設計の中でどういった方向性があるかどうかについては検討をしていかなければならないと思っておりますとところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、森委員。

○委員（森 正雄君） 2点ほど伺いたいと思います。

まず、207ページであります。派遣主事設置費の中でその他の負担金で指導主事設置負担金でありますけれども、当初でかなり予算が計上されております。昨年度と比較をいたしまして。今現在指導主事が何人配置されているのかと、来年度はどうかということをお伺いしたいと思います。

それと、社会教育主事の設置負担金、これ900万円上がっていますけれども、社会教育主事、この社会教育主事はどこにおいでになるのかということをお伺いしたいと思います。

それと、もう1点です。申しわけありません。233ページです。生涯学習センター施設改修事業であります。工事費で改修工事費ということで3,000万円から、3,400万円からの予算が計上されておりますけれども、これのかなりの改修費ということでありますけれども、これの内容について伺います。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 答弁を願います。

杉山指導課長。

○指導課長（杉山昭子君） お答えいたします。

派遣指導主事は6名配置されております。次年度も同じ予定でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） 今の追加でご答弁申し上げますけれども、ことしにつきましては既に6名ということで配置はしているのですけれども、1名分足りなかつたので、12月に補正予算を組ませていただいて増額してございます。平成29年度におきましては、当初から6名分ということでこの金額を計上させていただきます。

また、社会教育主事につきましては、生涯学習課のほうに1名配属してございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、高島関本公民館長・生涯学習センター長。

○関本公民館長・生涯学習センター長（高島雄二君） 生涯学習センター施設改修事業の内容ということでございますけれども、生涯学習センターペアーノにつきましては、平成6年3月竣工以来、22年経過しております。市民ホールの舞台関係につきましては、平成23年度の東日本大震災時、破損した一部の改修だけを行ったものでありまして、その他につきましてはほぼ改修されていない状態でございます。全体的に経年劣化が進んでおりまして、このままでは最悪の場合、ワイヤー等の断裂など大事故につながる。そういったおそれがあるということでありまして、本年度はまずワイヤー交換工事、それから舞台の照明設備部品交換、それから音響設備の改修、自動ドアの改修等といった形で合計3,460万7,000円をお願いして

いるところでございます。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 森委員。

○委員（森 正雄君） 学務課といいましょうか、先生のほうの話はわかりました。

この生涯学習センターの改修事業について再質問させていただきたいと思います。わかりました。かなり年数が22年ということで、いろいろな部分での経年劣化があるのだろうというふうに思います。こういう中でこの3,000万円からの改修ということですね。いろいろ照明とかつり具とか、そういう改修をした中で、かなり利用者も多いということだというふうに思います。そういう中で、関連しているので、質問するのですが、生涯学習センターをいわゆるフランチャイズとして使っている、中心的に使って、あの施設を広く啓発するといいましょうか、知らせる団体もあると思うのですね、利用団体が。そういったあれだけの施設なものですから、かなり施設を宣伝する団体も数多くあると思います。そういった団体への扱いといいましょうか、支援といいましょうか、そういったことは考えているのですか。

○委員長（榎戸甲子夫君） 高島生涯学習センター長。

○関本公民館長・生涯学習センター長（高島雄二君） 現在大分生涯学習センターペアーノの使用が多くなっているところがございます。そういった中で、現在関城吹奏楽団やキッズ劇団などがあるのですが、そのほかいろいろな楽器などを使ったもの、そういったものが使用されております。ペアーノのほうを使うときにいろいろな宣伝用の広告などもありますけれども、そういった中で拠点にしているところが筑西市生涯学習センターペアーノということで常に入れていただいているという形でございます。当然使用料なども現在は無料というような形で多く使っていただいているというところがございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 森委員。

○委員（森 正雄君） 私もあの施設は建設、運営と草分けでやらせていただいたので、思い入れも若干ございます。そういう意味で言うわけではないのですけれども、しっかりと貢献している団体というところはしゃくし定規にならないで、これは公共施設ですから、ある程度は設置管理規則に基づいた運営というのは当然ですけれども、十分配置されている職員として相手の利用団体の意を感じ取りながら、その運営に当たっていただきたいと要望しておきます。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 8ページで債務負担行為、教育情報ネットワークセンターサーバーと校務支援のシステム構築の両方の委託ですけれども、6年間ということで、これ実際には入札でやるのか、それとも今までの継続的なことでやっていくのか、その辺をお願いします。

それから、小中一貫の件ですけれども、概要説明書のナンバー23、さっき小倉委員さんがやったところですが、小中一貫の今度在り方検討委員会からの答申があって、そちらの検討も進めるのだろうと思いますが、いわゆるカリキュラムの一貫ではなくて、施設のほうの一貫、統合関係なのですが、どういうふうには今年度は計画があるのか、進め方です。それをお願いします。

それから、207ページに一番下から2つ目、教育情報化整備事業費の備品購入1億円ですけれども、こ

れは今年度はどういうことなのかということをお願いします。

それから、209ページの真ん中よりちょっと下、生徒指導対策支援員の件ですけれども、これの人数とか配置校はどこなのかということをお願いします。

それから、下から、同じページ下から2段目、生活指導員配置事業、これは人数が多いかと思うのですが、これの中身と人数と、あと配置の状況、それをお願いします。

それから、213ページ、これは小学校の空調のことです。これは、概要説明書のナンバー27、この27を見ると、これ田中委員がたしか本会議でやったと思うのですが、平成29年度は基本設計、平成30年度は実施設計、工事が始まるのは平成31年度に小学校の10校だけ、その次の平成32年度で10校ということで、ずっと先の、実際に設置されるのはずっと後ということになるわけで、道の駅でも前倒して頑張っているわけですけれども、こういうのは前倒しができないものかなというふうに思うのですが、何とかその辺のやりくりというのですか、その辺をできるかどうか、お願いします。

それから、245ページで、明野学校給食センターについてお願いします。給食用品購入というふうになっていますが、協和の給食センターを廃止して、そちらへ持っていくということですが、まず分散するわけですね、下館学校給食センターと明野学校給食センターで協和の分を分担するという計画ですが、食数はどういふふうに変わっていくのかです。それから、明野給食センターのレーンは1つだと思っていますが、その辺確認します。よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 20個ぐらいあったな。簡潔明瞭に答弁。

山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） まず、予算書8ページ、債務負担行為について申し上げます。

こちらの2つのものにつきましては、入札によって業者を決定していきたいというふうに考えてございます。

続きまして、205ページ、小中一貫教育推進事業の平成29年度の取り組みでございしますが、先般学校の在り方検討委員会から答申がございましたので、その答申に基づきまして教育委員会としての考え方をまとめていきたいというふうに考えております。その中で今後の基本計画をつくったりとか、そういうものを進めていきたいというふうに考えてございます。

続きまして、207ページ、下の教育情報化整備事業費でございしますが、こちらにつきましては平成27年度からタブレット型のパソコンの導入を始めていますけれども、平成29年度におきましては生徒用につきましては大田小学校、古里小学校、新治小学校、小栗小学校、下館南中学校のパソコンの交換を予定しています。また、校務用につきましては、古里小学校、新治小学校、小栗小学校につきまして予定しています。その他、必要な備品等の購入を考えてございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、増田施設整備課長。

○施設整備課長（増田 茂君） お答えいたします。

小学校の空調整備の事業でございしますが、平成29年度におきまして基本設計等の業務を行っていき

と思っています。今回既設のほうの学校に整備をするということで、各学校に対応した調査等を行いまして、漏れがないような基本的な考え方を整備していきたいと思っております。平成30年度におきまして、それらをもとに詳細なる実施設計を作成した後、平成31年、平成32年度で、2カ年度で小学校の空調設備を整備したいと思っております。ただいま三浦委員さんがおっしゃいましたように、児童生徒に対する対応について前倒しできないかということでございますが、できる限りの整備ができるよう、関係部署と協議をして重ねてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次に、杉山指導課長。

○指導課長（杉山昭子君） では、お答えいたします。

生徒指導対策支援員でございますが、こちらの人数ですが、8名登録のうち2名を協和中学校に、それから2名を明野中学校、そして2名を関城中学校に、日数の違いはございますが、配置してございます。

（「もう1度お願いします」と呼ぶ者あり）

○指導課長（杉山昭子君） （続）8名登録しておりまして、協和中学校には3名のグループの中から2名配置しております。隔日になっております。それから、明野中学校は2名の配置でございます。関城中学校は3名登録してありまして、その中から2名が交代で毎日勤務してございます。

それから、続きまして生活指導員でございます。こちらのまずどういった中身かということですが、障害のある児童生徒等の日常生活の介助及び学校教育活動上の支援のために配置しております。また、児童生徒等の安全確保にもかかわっております。人数ですが、平成28年度におきましては41名を全部の小学校と中学校2校に配置しております。人数は、1名配置の学校から4名配置の学校まで、その子供の状況に応じて人数は違いがございます。平成29年度も面接を行いまして、学校からの状況も吸い上げまして、それぞれの状況に応じて42名を全小学校と中学校1校に配置していく予定でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次に、大木明野学校給食センター長。

○明野学校給食センター長（大木修一君） お答えいたします。

平成30年度からの協和学校給食センターが廃止になりまして、明野学校給食センターに編入される学校ですが、協和地区から協和中学校と古里小学校が編入の予定であります。食数ということでございますけれども、全体で約1,900食を予定しております。それから、レーンといいますか、献立関係は1献立でございます。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員。

○委員（三浦 譲君） 小中一貫の件ですけれども、平成29年度、これ確認しますが、答申に基づいて教育委員会の中で考えをまとめて基本計画をつくっていくと。教育委員会の中でということなのでしょうか。それとも、もうちょっと広いみ方というか、委員会とか、そういうところではやらないのかという、その辺がよくわからなかったので、お願いします。

それから、空調の件ですけれども、参考までに聞かせてもらいたいのですが、全小学校に入れるとなる

とどれだけのお金がかかって、交付金で一応あると思うのですが、それはどのくらい。つまり自前、自腹はどのくらいかかるのかということです。それをお願いしたいと思います。

それから、生活指導員の件ですけれども、確認しますけれども、要するに学習障害とかのクラスに配置をしていって、特に筑西市は先進的だというふうに聞いているのですが、要するに必要なクラスには全て配置されているというふうに理解していいのかどうかです。その辺の必要性の過不足の点ではどうなのかという点をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（榎戸甲子夫君） 山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） まず、小中一貫教育の平成29年度の計画につきましては、先ほどお話ししましたように、基本計画を策定していくわけでございますけれども、これについてはまず教育委員会の中で協議をいたしまして、計画をつくっていききたいというふうに考えております。できた計画につきましては、学校の在り方検討委員会や市民に対しましてパブリックコメントを行ったりとか、そういう形で市民の声も聞きながら、最終的にはつくっていききたい。最終的には、市長が入った総合教育会議というものにかけて、最終的なものはつくっていききたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 増田施設整備課長。

○施設整備課長（増田 茂君） お答えいたします。

小学校20校に対します空調設備の全体の事業費でございますが、今の概算で申し上げますと、約9億8,300万円ほどを予定してございます。このうち国からの交付金でございますが、約1億1,000万円ほど交付金として入ってくる予定でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、杉山指導課長。

○指導課長（杉山昭子君） お答えいたします。

生活指導員ですが、予算の範囲内で必要な順に配置しておりますので、必要なところに配置はしておりますが、年々発達障害系の子もふえておりますので、要望は高まっているところでございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 三浦委員、3回目。

○委員（三浦 譲君） 小中一貫の件ですけれども、教育委員会の中でという話ですから、いわゆるいろいろな意見でもむということ、今回平成29年度の中ではないということなのかということを確認したいと思います。何かその辺がちょっと腑に落ちないところがあるのですが。

それから、生活指導員の件でちょっとお尋ねしますけれども、これの財源が県のほうからとか、そういった一部ないのかどうかということと、あと身分というのですか、立場というのがどうかということと、そうすると勤務時間、あと研修とかいった場合、採用するのにどういうふうに行っているかと、その人の部分ですけれども、それをお願いします。

○委員長（榎戸甲子夫君） 山形学務課長。

○学務課長（山形浩之君） 基本計画につきましては、教育委員会には教育委員さんがおります。5人の

教育委員さんを中心にまとめていくわけですが、必要に応じて地元のほうに入りましてアンケート調査を行ったり、懇談会を行ったりということも考えております。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次、杉山指導課長。

○指導課長（杉山昭子君） お答えいたします。

まず、身分ですが、講師経験者や教員免許状保持者、それから教員の志望者、あと一般の主婦などもおります。さまざまな形の方がおります。勤務時間ですが、1日に5時間で5日間勤務いたします。研修は年に2回行っております。採用は、公募でピープルを通して募集をかけ、面接して決定しております。

以上でございます。

○委員長（榎戸甲子夫君） 次。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） 以上で教育委員会関係を終わります。

教育委員会の皆さん、ご苦労さまでした。

最後に、最後です。農業委員会関係について審査願います。

歳入は、使用料及び手数料の農林水産業手数料、説明欄の23ページ下段、1農地証明手数料から、歳出は農林水産業費の農業委員会費、説明欄の151ページ上段、農業委員会費からです。

質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸甲子夫君） 以上で農業委員会関係を終わります。

農業委員会の皆さん、ご苦労さまでした。

以上で本委員会に付託された議案第26号「平成29年度筑西市一般会計予算」から議案第36号「平成29年度筑西市病院事業会計予算」まで11案の審査は終了いたしました。

これより逐条採決いたします。

まず、議案第26号「平成29年度筑西市一般会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第27号「平成29年度筑西市国民健康保険特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第28号「平成29年度筑西市後期高齢者医療特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第29号「平成29年度筑西市公共下水道事業特別会計予算」について、原案のとおり決するこ

とに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第30号「平成29年度筑西市農業集落排水事業特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第31号「平成29年度筑西市下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第32号「平成29年度筑西市駐車場事業特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第33号「平成29年度筑西市介護保険特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第34号「平成29年度筑西市介護サービス事業特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第35号「平成29年度筑西市水道事業会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第36号「平成29年度筑西市病院事業会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（榎戸甲子夫君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

これをもちまして、予算特別委員会を閉会いたします。

長時間にわたり慎重なる審査、大変ご苦勞さまでございました。ありがとうございました。

閉 会 午前11時53分